

# BglII

## BglII (high conc.)

### I. 認識配列

5'.....A▼GATC T.....3'  
3'.....T CTAG▲A.....5'

### II. 保存

-20°C

### III. 活性定義

1 unit は、反応混合液 50 μl 中、1 μg の λDNA を 37°C、60 分間で完全に分解する酵素活性とする。

### IV. 起源

*Bacillus globigii* RUB562 (BglI free strain)

### V. 形状

200 mM KCl  
10 mM Tris-HCl (pH 8.0)  
0.1 mM EDTA  
1 mM DTT  
0.2 mg/ml BSA  
50% Glycerol

### VI. 酵素反応条件

・反応温度 : 37°C  
・バッファー : H

{	100 mM	NaCl
	50 mM	Tris-HCl (pH 7.9)
	10 mM	MgCl <sub>2</sub>
	1 mM	DTT

### VII. 添付品

・10 x H Buffer (赤色ラベル)  
添付反応バッファーは、酵素反応条件の 10 倍濃度です。  
制限酵素のチューブのラベルと同色のラベルのものをご使用ください。

### VIII. 反応バッファー別相対活性

Buffer	L	M	H	A	B
相対活性 (%)	(10)	(75)	100	(50)	(150)

### IX. 純度

本酵素 20 units と 1 μg の λDNA を 37°C で 5 時間反応させた後、アガロースゲル電気泳動を行った結果、切断パターンに変化は認められない。

### X. 結合試験

本酵素で完全に切断された λDNA フラグメントの 90% が T4 DNA リガーゼで結合され、そのうち 100% が本酵素で再切断される。

### XI. 備考

制限酵素のスター活性やメチル化の影響など、さらに詳しい情報についてはニッポンジーンのホームページをご参照ください。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。  
医薬品の用途には使用しないでください。